

2512876HH6301

〔居間・事務所・店舗用〕

三菱ダクト用換気扇（グリル別売タイプ）

機能	局所換気	24時間換気機能付
本体形名	VD-25ZX ₁₄ -IN	VD-23ZLX ₁₄ -IN VD-23ZLXP ₁₄ -IN

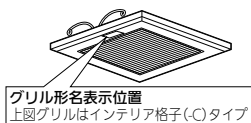
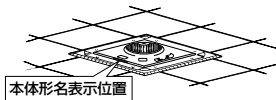
据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

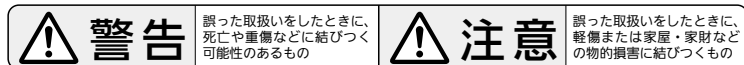
別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
 - 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
 - この製品は、居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
 - 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。
 - この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
 - 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホテルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
 - 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用覧ください。

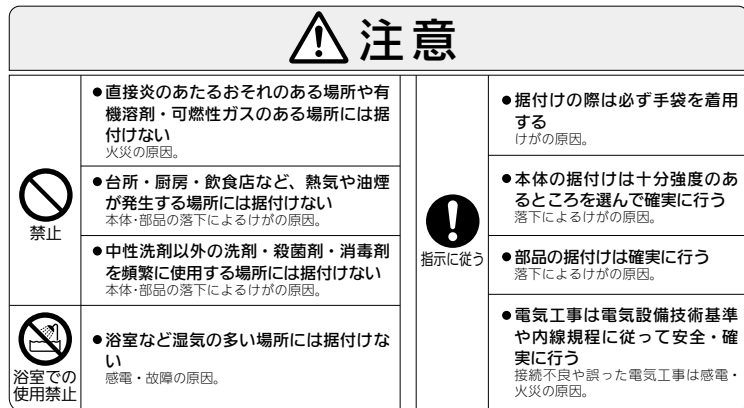
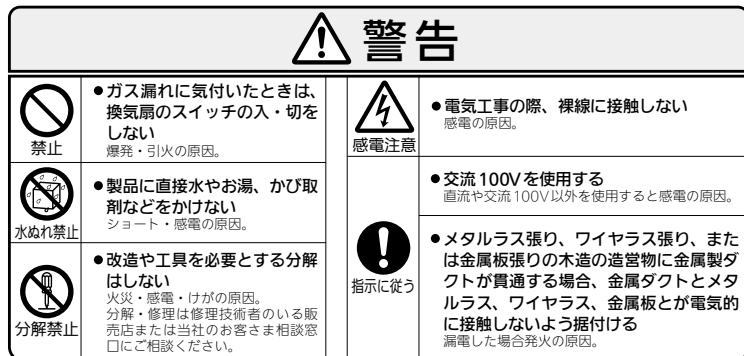


1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。



2. 据付け前のお願い



- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けけない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けけない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

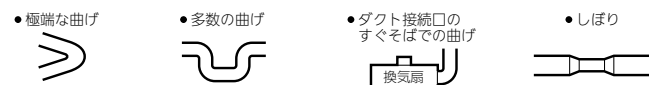
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
- 同梱されているダクト接続口を使用してください。風量低下や異音発生の原因となります。

据付位置

- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
 - 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
 - 次のようなダクト工事はしないでください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 風量低下や異常音発生の原因となります。



- 天吊金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

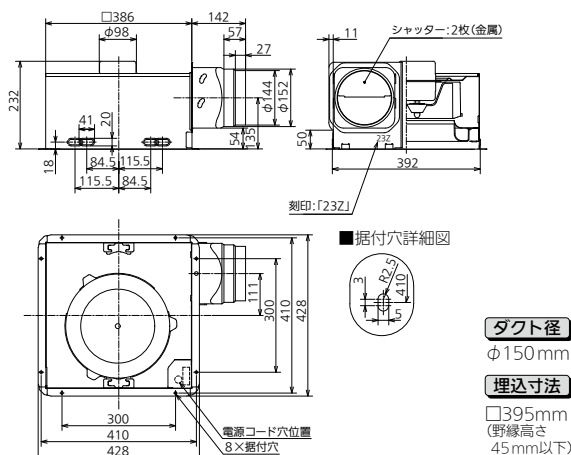
3.外形寸法図

单位 (mm)

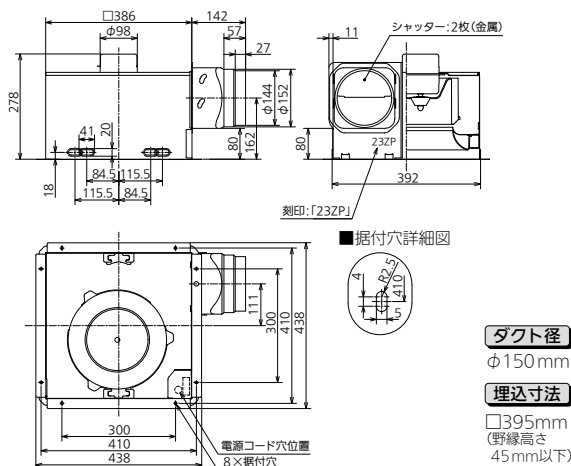
【付属部品】 木ネジ……………9本

※別売グリルにフルフラットインテリア(-Z)タイプを選定された場合は、フルフラットインテリア(-Z)タイプに同梱の据付説明書をご確認ください。

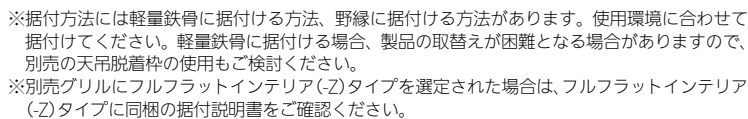
■VD-23ZLX₁₄-IN



■VD-23ZLXP₁₄-IN



4.据付方法

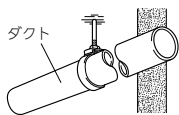


据付位置・壁排気穴位置（単位（mm））を決め、市販の吊りボルト（M8またはM10）を4本埋め込む。（図表参照）

形名	A寸法
VD-23ZLX ₁₄ -IN	207
VD-23ZLXP ₁₄ -IN VD-25ZX ₁₄ -IN	237

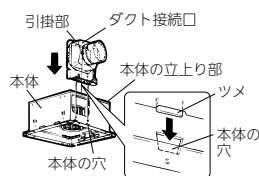


- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)
- ダクトに結露が発生する場所においては、ダクトに断熱処理を施してください。(結露により天井材を汚損する原因となります)

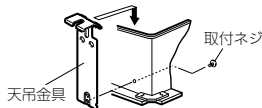


軽量鉄骨を使用する場合は、**3** 本体を吊る の後、**5** 軽量鉄骨を組む の手順に従い据付けてください。

●複数台を同時に据付ける場合は、「3.外形寸法図」に示すダクト接続口の刻印・シャッター仕様に注意し、ダクト接続口を間違えないように使用してください。

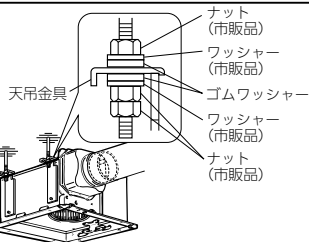


- 天吊金具を本体に引掛けて内側から取付ネジで固定する。



お願い

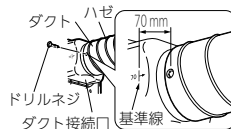
- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。
(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)



- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。

塩化ビニル管と
接続する場合、
ダクト方向の微
調整が可能です。
(全方向7°)

(1) 図のように矢印から水平に70 mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70 mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60 mmの位置に固定する。



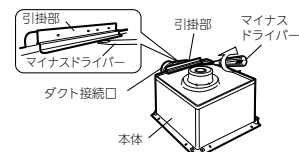
- ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。

ダクト呼び径 φ150の場合			
ダクト外径(mm)	150(スバイラルど)	155~160	165(VP管など)
ネジ 呼び長さ	10	13	19

(VD-25タイプ:ダクト径φ200は除く)

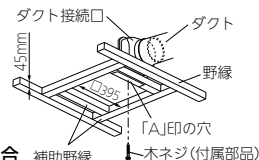
・野縁に据付ける場合 野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を併用する

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。

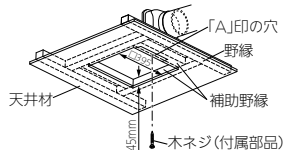


●ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。

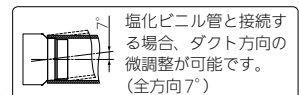
- 図のように天井の野縁に4本の補助野縁で据付枠を組む。(野縁高さが45mmより大きい場合据付けできません)



野縁高さ+天井材厚さが45mm以下になるように、4本の補助野縁を使用して据付枠を組む。
(野縁高さ+天井材厚さが45mmより大きい場合据付けできません)



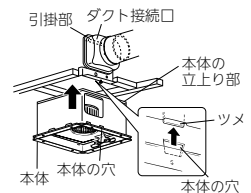
- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。野縁内寸法が大きいため、木ネジが垂直に打てなくなり野縁の割れによる固定不具合が発生します。



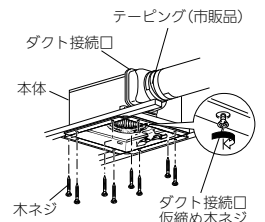
お願い ●複数台を同時に据付ける場合は、「3.外形寸法図」に示す刻印・シャッター仕様のダクト接続口を間違えないように使用してください。

以下、①野縁に本体フランジを据付ける方法を例として記載しています。②天井材の下に本体フランジを据付ける方法については、野縁組立後に天井材を張り同様の手順で据付けてください。

お願い ●羽根を持って本体の据付けを行わないでください。
(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)



- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属のネジ8本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。
(すき間があると風漏れの原因となります)
- (2) ダクト接続口を仮締めしているネジ1本を締め付ける。
- (3) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテープングする。



お願い ●ダクト接続をネジで行う場合はネジでダクトを接続する場合を参照してください。

4.据付方法 つづき

4 電気工事



警告

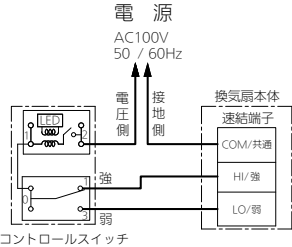
- 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）」および「内線規程」に従い実施してください。

お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認ください、電圧の確認や電気配線の識別を実施の上、結線してください。

■結線図（太線部分を結線する）



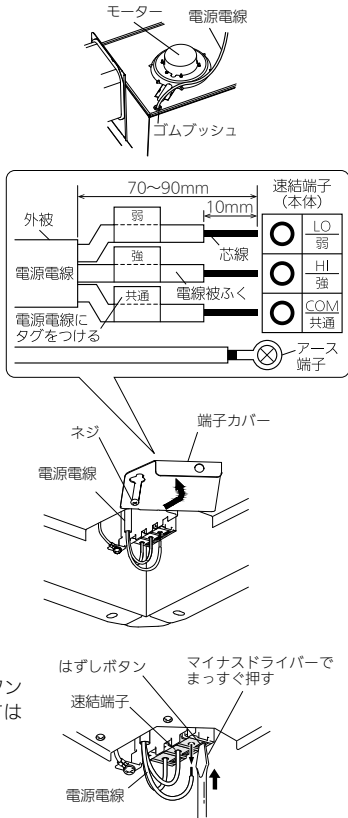
■結線の前の確認

1. 電圧の確認
 - 線間電圧が表の電圧であることを確認してください。
2. 電気配線の識別
 - 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。

電圧チェック表		線間電圧 (V)	
スイッチ	測定点	共通-強	共通-弱
切		0	0
入-強		100	0
入-弱		0	100

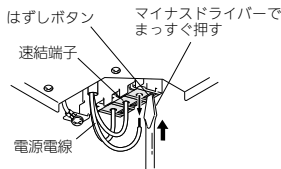
■結線方法

1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2）を通す。
 - 電源電線の外被は70～90mm皮むきしてください。
 - 電源電線は、接続部に力加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
2. 端子カバーのネジ1本をゆるめて端子カバーをスライドさせて開け、速結端子に皮むきた芯線を確実に奥まで差し込む。
 - 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。（10mm以上むくと漏電の原因となります）
 - より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。（導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります）
 - アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製造（株）製YHT-2210をご使用ください）
3. 端子カバーを端子カバーのあけ方と逆の手順で取付け、ゆるめたネジ1本を締め付け固定する。



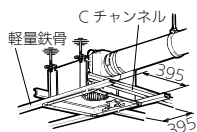
■電源電線の外し方

- マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら、電源電線を引いてははずしてください。



5 軽量鉄骨を組む

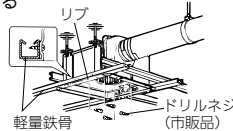
軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで内寸が395mmになるよう据付枠を組む。



6 本体の固定（メンテナンスができるよう固定）

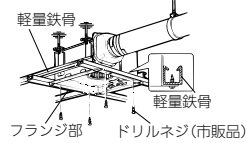
軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合

本体内部のリップ（4か所）を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する



軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合

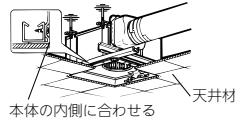
本体フランジ部の据付穴を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。



7 天井材を張る

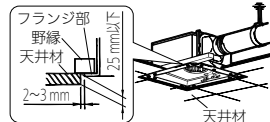
本体を軽量鉄骨に据付ける場合

- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。



本体を野縁に据付ける場合

- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体のフランジ部分と天井材は必ず2～3mmのすき間があくよう角穴をあける。



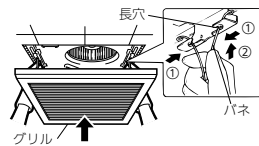
お願い

- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないよう固定してください。（すき間がありますと風漏れの原因となります）
- 天井材の厚さは25mm以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）

8 グリルの据付け

この製品はシステム部材の別売グリルが必要です。別途ご用意ください。

- (1) グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

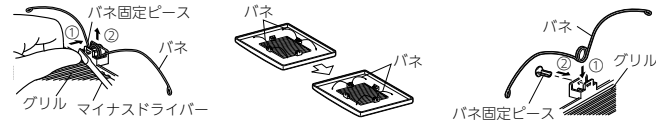


グリルの据付け方向の変更

インテリア格子タイプはグリルの据付け方向を90° 変更できます。

- (1) マイナスドライバーの先端でパネ固定ピースを矢印①の方向に押し、グリルから抜き取りパネをはずす。
- (2) パネの位置を90° 変更して据付け、パネをパネ固定ピースで固定する。

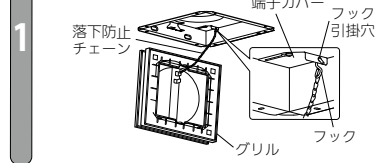
お願い ●パネ固定ピースは「パチン」と音がするまで挿入して、抜けないことを確認してください。



■フラットインテリア（-FP）タイプの場合

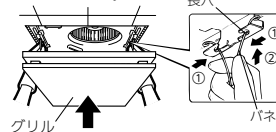
落下防止チェーンを据付ける。

- グリル裏側にある刻印の指示位置に従って、落下防止チェーンのフックを本体の端子カバーの穴に引掛ける。



グリルを据付ける。

- (1) グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。



5.試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチの切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

お客様への説明

別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者（オーナー、ゼネコン）または管理者に説明してください。

6.修理を依頼する前に

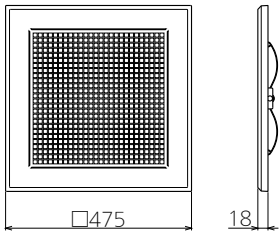
■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを「入」にしても羽根が回転しない 強/弱どちらか動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※ 4 電気工事 の電圧チェック表を確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定（天用金具・ネジ止め）が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット）	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管）	ダクトのつづれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	屋外フードのほこりを清掃する（特にリフォーム時）

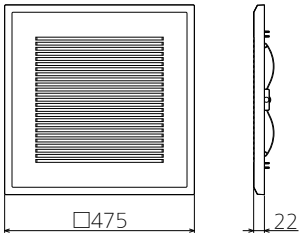
7.別売グリル

単位(mm)

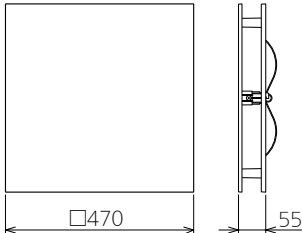
■十字格子（-J）タイプ



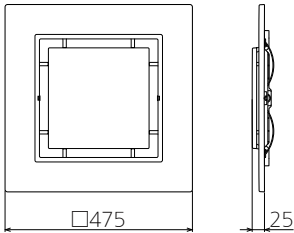
■インテリア格子（-C, -CK, -G）タイプ



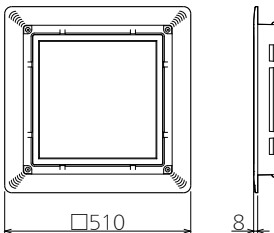
■フラットインテリア（-FP）タイプ



■スリットインテリア（-X）タイプ



■フルフラットインテリア（-Z）タイプ



■適応表

本体形名	グリル			開口面積 (cm ²)
	形名	タイプ	色調	
VD-23ZLX ₁₄ -IN VD-23ZLXP ₁₄ -IN	P-395GB ₃ -J	十字格子	クールホワイト	823
	P-395GB ₃ -C	インテリア格子	クールホワイト	712
	P-395GB ₂ -CK	インテリア格子	マットブラック	
	P-395GB ₂ -G	インテリア格子	ライトオーク	549
	P-395GB ₃ -FP	フラットインテリア	クールホワイト	
	P-395GB ₃ -X	スリットインテリア	クールホワイト	
VD-25ZX ₁₄ -IN	P-395GB ₃ -Z	フルフラットインテリア	クールホワイト	380
	P-395GB ₃ -J	十字格子	クールホワイト	823
	P-395GB ₃ -C	インテリア格子	クールホワイト	712
	P-395GB ₂ -CK	インテリア格子	マットブラック	
	P-395GB ₂ -G	インテリア格子	ライトオーク	549
	P-395GB ₃ -FP	フラットインテリア	クールホワイト	
	P-395GB ₃ -X	スリットインテリア	クールホワイト	418